

令和4年度第1回印西市国際化推進懇談会 会議録

開催日時 令和4年6月22日（水）午後1時30分～2時45分
開催場所 印西市役所 農業委員会会議室
出席者 宍戸真会長、坂東昭二委員、富田多美子委員、マクドエル デービッド ジョン委員、岡野誠委員、岩並仁委員、張京玲委員、ラビンドラ デイ委員、マイケル フィルハート委員（9名）
欠席者 山口道博委員、渡邊信委員、糸井淳委員、許毓婷委員（4名）
事務局 企画政策課 高平課長、千葉井係長、杉山
傍聴者 2名
議題 （1）令和3年度事業報告について
（2）令和4年度実施事業について
議事録（要点筆記）

4. 議題

（1）令和3年度事業報告について

事務局 【資料1に基づき、令和3年度事業について報告】
【以下、質疑応答】

岡野委員 印西市国際交流協会事業補助金の充当先について伺いたい。

事務局 国際交流協会事業のうち、語学講座、国際交流事業、日本語教室、外国人無料相談、ホームページの維持管理、広報誌発行の一部に計50万円が充てられています。

岡野委員 国際交流協会として、50万円の補助額は十分な金額か。また、企画政策課以外の課からの補助金はあるか。

坂東委員 企画政策課以外からの補助はない。当協会の収入は大きく分けて、会員からの会費、事業収入、市の補助金でなりたっている。補助金が多いに越したことはないが、金額については定められた上限の中で、市と協議して決めている。

事務局 議題5で説明する予定ですが、国際交流協会の事業が拡大していることを踏まえ、令和4年度は予算を増額しております。

岡野委員 総合防災ガイドブックの多言語翻訳は10か国語ということだが、これで十分とお考えか。

事務局 現在、市内には約2,700名、60か国ほどの外国人市民が住民登録されています。特に多い国・地域は中国、ベトナム、韓国、フィリピン、スリランカ、台湾、アメリカで、全体の8割程度を占めます。したがって、10か国語あれば、外国人市民9割以上の使用言語はカバーできるものと考えられます。

岡野委員 防災の知識が乏しい外国人市民が被災する恐れがあることを考慮すると、言語的にカバーされていない市民が少数だからいいということにはならない。そうした方への対応策があれば伺いたい。

事務局 防災課では日頃から啓発活動に取り組んでおり、また今後は地域コミュニティと連携し、地域で把握している外国人世帯の情報をご提供いただくことで、一層の周知啓発に努めていきたいと考えております。
もうひとつ、近年国では、ビギナーレベルの日本語話者でも理解できる「やさしい日本語」の普及が推奨しており、本市でも昨年度、「やさしい日本語」をテーマに市職員対象の多文化共生研修を実施したところです。こうした新しいツールを積極的に普及活用することで、マイナー言語の話者も含むすべての外国人市民に必要な情報が届くよう、市として努めてまいりたいと考えております。

テイ委員 消火器やエレベーター内の緊急停止時必要品収納ボックスなどは、日本語でしか名称や説明書きや記載されていないため、外国人にはなにかわからず、必要なときに使えない可能性がある。そうした非常時用のものだけでいいので、英語の注記も入れていただきたい。また、行政から民間事業者に対して、そうした取組を働きかけていただきたい。

事務局 大変貴重なご意見、ありがとうございます。なかなか私たちには気づきにくい部分でもありますので、いろいろ教えていただければありがたいところです。防災担当とも連携をとり、できることから進めてまいりたいと思います。

フィルハート委員 多言語化の取組は大変すばらしい。ただ、早速 QR コードで総合防災ガイドブックの英語版を読んだみたが、紙面の構成がとてもわかりづらく、またどのような翻訳ソフトを使っているのかはわからないが、首をかしげるような翻訳が多い。いまざっと目を通しただけでも、同じ言葉に違う単語を使っていたりするものなどがあつた。全体的にいい方向に向かっているとは思いますが、まだ外国人が利用するのは難しいように感じた。

事務局 大変貴重なご意見、ありがとうございます。申し訳ございません。防災担当と連携をとり、改善に努めてまいりたいと思います。

張委員 木下貝層説明看板の中国語翻訳だが、文章がおかしい。簡体字では普段使わない表現で、ほとんど理解ができない。

事務局 大変貴重なご意見、ありがとうございます。こちらにつきましても誠に申し訳ございません。改善に努めてまいりたいと思います。

坂東委員 私ども国際交流協会でも翻訳したものです。ネイティブチェックも入れて確実に行ったつもりですが、ご意見承りました。

議長 他にご意見、ご質問がなければ、(1)については以上といたします。

(2) 令和4年度実施事業について

事務局 【資料2・3に基づき、令和4年度実施事業及びウクライナ緊急支援プロジェクトについて説明】

【以下、質疑応答】

坂東委員 私ども国際交流協会が主催している日本語教室りぼんの状況について報告させていただきたい。最近日本語がまったく話せない学習者が増えており、親子で参加するというケースもある。教室の現場から、以前は日本人の配偶者が多かったが、近年はビジネス関係や定住外国人世帯の学習者が増える傾向にあると聞いている。りぼんでは、学校外での支援として、今後はそうした子どもや親を対象にした活動にも取り組んでいきたいと考えている。そうした子どもの学校外での支援について、市でもなにか方向性が出たら今後教えていただきたい。

岩並委員 事務局の説明にあった行政資料多言語化推進事業は、国、県主体の事業なのか、市主体の事業なのか伺いたい。また、企画政策課では様々な新規事業を立ち上げているが、これらは今後も庁内全体の調整役が本来業務だと思われる貴課が担っていかれるのか。

事務局 昨年度から実施している通訳支援試行事業については、国が試行的に提供している電話での通訳サービスを市が利用しているもので、令和4年度も継続して実施していきます。また、令和4年度に実施予定の災害時外国人サポーター養成講座は、千葉県の主催事業に、印西市、白井市が共催して実施するものです。その他はすべて市単独の事業となります。市単独事業でも、例えば総合防災ガイドブックの多言語化は防災課独自の事業で、企画政策課は基本的に関わっておりません。その他、行政資料の多言語化の取組についても、確かに必要なものは本来各課で実施するべきもので、例えば医療関係や法制度に基づくような、専門性や正確性が求められる文書であれば、それなりの予算をかけて翻訳会社に依頼することが適切であると思われます。一方、企画政策課で仲介している多言語化推進事業は、予算をかけて翻訳のプロに依頼するほどの内容ではないものの、外国人市民に情報提供が必要なものと思われるものを庁内に広く照会し、国際交流協会に依頼するという取組になります。したがって、必要な取組であれば、岩並委員のおっしゃるとおり、本来は各課で実施していくことが望ましいと考えております。加えて、企画政策課の政策推進係は庁内の全体調整を担っていることから、国際化推進に関しても、係の性格上各課との連携がとりやすいというメリットがございます。以上から、政策推進係が国際化の推進を担当しているという状況ですので、ご理解いただければ幸いです。

岡野委員 新型コロナウイルスが流行して3年目になるが、外国人市民からもコロナ関連でいろいろな要望があると思われる。実施予定事業一覧にはその対策のような事業は見当たらないが、例えば外国人市民向けにコロナ対策に関するアンケート調査を実施する予定があれば伺いたい。

事務局 印西市国際化推進方針を策定する前年に外国人市民意識調査として市内在住の全外国人を対象にアンケート調査を行っており、次回は2年後の令和6年度に行う予定です。前回の調査は令和元年度のコロナ前に実施したので、コロナに関連する質問はありませんでした。現在のところ、他課も含め、同様のアンケート調査を実施する予定はございません。現状は、窓口等で個別に意見を吸い上げる体制により対応しておりますが、日本語が話せない方がいらっしゃった場合は、翻訳機等を活用して対応したいと考えております。

岡野委員 緊急に調査し、対応していくことが大切な状況だと思われるので、すぐに予算措置して実施することが必要ではないか。

事務局 庁内でコロナ対策の最前線に立っているのは、発熱者の対応やワクチン接種などを担当する健康増進課でございます。外国人の方の場合、やはり発熱した場合どうすればいいのか、ワクチンをどこで接種すればいいのかといったケースが大きな問題ですので、そういった対応を庁内で連携して行っている状況です。
また、出入国管理庁や千葉県では外国人向けのコロナ相談用多言語対応コールセンターを設置しているので、市で対応できないような問合せがあった場合はそうした機関を適宜紹介しております。

岡野委員 外国人市民がコロナで困っていることについて、市としてしっかり調査していくことが重要だと考える。

事務局 ありがとうございます。ご意見を踏まえ、検討してまいります。

5. その他

事務局 (9月で任期満了となることについて各委員にお礼。併せて、これから次期委員の公募と選任を進めていくことと、今年度もう一回懇談会を開催する予定について連絡。)

以上をもちまして、令和4年度第1回印西市国際化推進懇談会を終了いたします。
長時間、ありがとうございました。

令和4年6月22日に行われた印西市国際化推進懇談会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

令和4年7月11日

会議録署名委員 富田多美子